

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

# 日本農業新聞

## 食の検定

# 全国で4000人挑戦

## JA職員も初の2級試験も

「食の検定協会」(東京都千代田区)は21日、食や農業の知識を問う「食業関連の企業・団体や主



試験会場に入る受験生(21日、東京都世田谷区の東京農業大学で)

婦、学生ら約4000人が受験した。これまで基礎を問う食農3級の試験だけだったが、3級合格者が受ける同2級試験も初めて実施。昨年6月の3級第1回試験以降、受験者は延べ約1万2000人に達した。

増えている。食育などに携わる生産者の受験も増えてほしい」と話した。食の検定は多くの人に食や農への理解を深めてもらうのが目的。マークシート方式で100問が出題される。3級合格者は約5000人に上る。

関東や東海、九州地区などではJA職員が20人以上まとまり、団体で3級を受験しており、同協会は「幅広い層が受験する中、JA職員の受験も

今回、3級試験は4回目で約2650人が、2級には約1350人がそれぞれ受験。3級は食料自給率など基本的な問題だが、2級はポジティブ

リスト制度の内容を問うなど高度なものが出た。会場の一つ、東京農業大学(東京都世田谷区)で2級を受験した4代主婦は「生協組合員で、農業や食をもっと知りたいと受験した」と話した。

同協会によると、合格者には別途手当を出す企業もあるという。合格者の推移を見ながら、2級合格者が受験する1級試験も実施する計画だ。